

この教材（初中級）の使い方

教材の特徴

日本の生活場面で「できる」ことを増やします

『いどころ 生活の日本語』は、日本で生活する人のための日本語教材です。日本で働いたり、買い物をしたり、遊びに行ったり、食事をしたり、ほかの人と交流したりなど、日本の生活のさまざまな場面で必要となる日本語を学びます。

この教材では、日本での生活の中で、日本語を使って実際の場面で「できる」ことを増やすことを学習目標にしています。この「どんな場面で何ができるか」を、「Can-do」と呼びます。Can-doを目標とした学習により、日本での生活に必要なコミュニケーション力を身につけることを目指します。

A2～B1レベルの日本語を身につけます

『いどころ』は、「入門(A1)」「初級1(A2)」「初級2(A2)」「初中級(A2/B1)」の4部からできています。『初中級』は、「JF日本語教育スタンダード」*A2とB1の活動で構成されています。A2は、身近な話題なら、短い基本的な日常会話ができるレベル、B1は、身近な話題や、自分の関心のある話題について、まとまりのある話をしたり、ある程度くわしく説明したりすることができるレベルです。『いどころ』の4部を通して、日本語をはじめ勉強する人が、日本で生活する上で困らないレベルまで到達することが可能です。

* JF日本語教育スタンダードは、日本語のレベルをA1～C2の6段階で表しています。これは、CEFRのレベルと共通です。

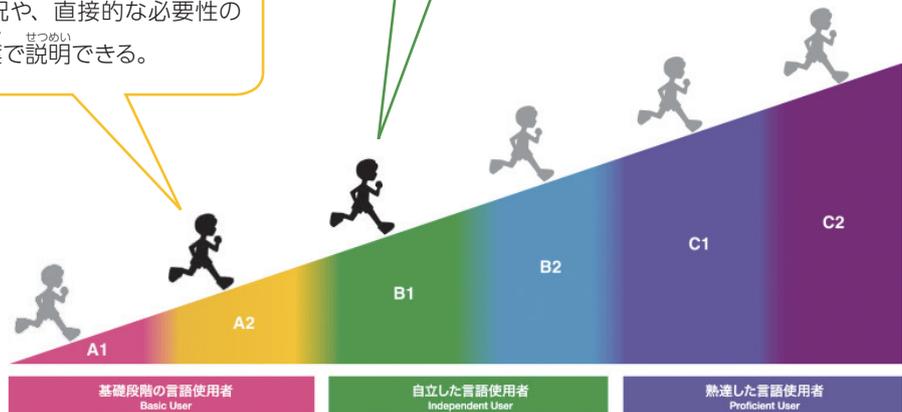
A2 レベル

- ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。
- 簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に应付することができる。
- 自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

B1 レベル

- 仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。
- その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。
- 身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べるることができる。

JF日本語教育スタンダード [新版]
利用者のためのガイドブック



「JF 生活日本語 Can-do」 などにもとづいています

国際交流基金は、「JF 生活日本語 Can-do」を2019年に発表しました。これは、「特定技能」の資格等で来日した日本語を母語としない外国人が、日本での生活場面で求められる基礎的な日本語コミュニケーション力を、Can-do (A1～A2) で記述したものです。「初中級 (A2/B1)」のうち、A2の活動は、この「JF 生活日本語 Can-do」などにもとづいて学習目標を設定しています。B1の活動は、国際交流基金が作成した「JF Can-do」や、文部科学省が公開した「生活 Can do」を参考に、学習目標を設定しています。

豊富な音声やレアリア (実物教材) を使って、実践的な日本語を学びます

『いろどり』では、音声のインプットを重視しています。日本語が実際の場面で使えるようになるためには、たくさんの日本語を聞くことが大切だからです。そのため、音声ファイルを豊富に用意してあります。また、読みだり書いたりするための素材には、日本の生活で実際に使われているもの (レアリア) や、それを再現したものを使っていますので、日本での実際の場面に近い状況で、日本語を練習できます。以上を通じて、すぐに使える実践的な日本語を学ぶことができます。

生活に密着したさまざまなトピックがあります

『いろどり』は、トピックにもとづいて構成されています。それぞれの課では、日本での生活に関連するさまざまなトピックが取り上げられています。日本語という言語を学ぶだけでなく、日本の生活や文化にも触れられるよう、日本の日常生活や日本事情に関するさまざまなことがらを題材として積極的に取り上げています。また、日本の生活に役立つコーナーもあります。

文法や漢字などの言語知識もしっかり学べます

この教材の目標は、実際のコミュニケーションにおいて日本語が使えるようになることなので、文法、語彙、漢字などを覚えること自体が目標ではありません。しかし、こうした要素は、Can-do を達成するために必要な要素として、文脈のあるコミュニケーションの中で、しっかり学べるようになっていきます。一般の初級の日本語教材で扱われている文法、語彙、漢字の多くは、『いろどり』にも入っています。

ウェブサイトから自由にダウンロードできます

『いろどり』は、ウェブサイト上で提供しますので、世界のどこからでも、自由にダウンロードすることができます。本冊はPDF ファイルとして提供されますので、印刷して使うこともできますし、タブレットやスマホに入れて見ることもできます。音声は、サイトからダウンロードして聞くほか、ストリーミングでの再生にも対応しています。

『まるごと』と緩やかに関連づけられています

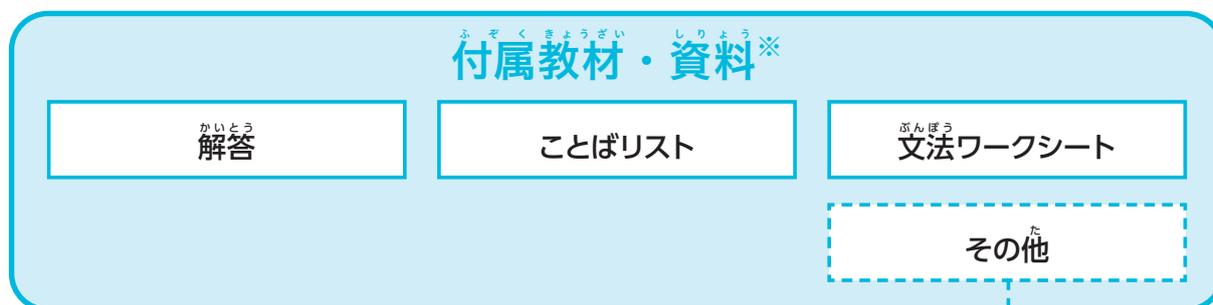
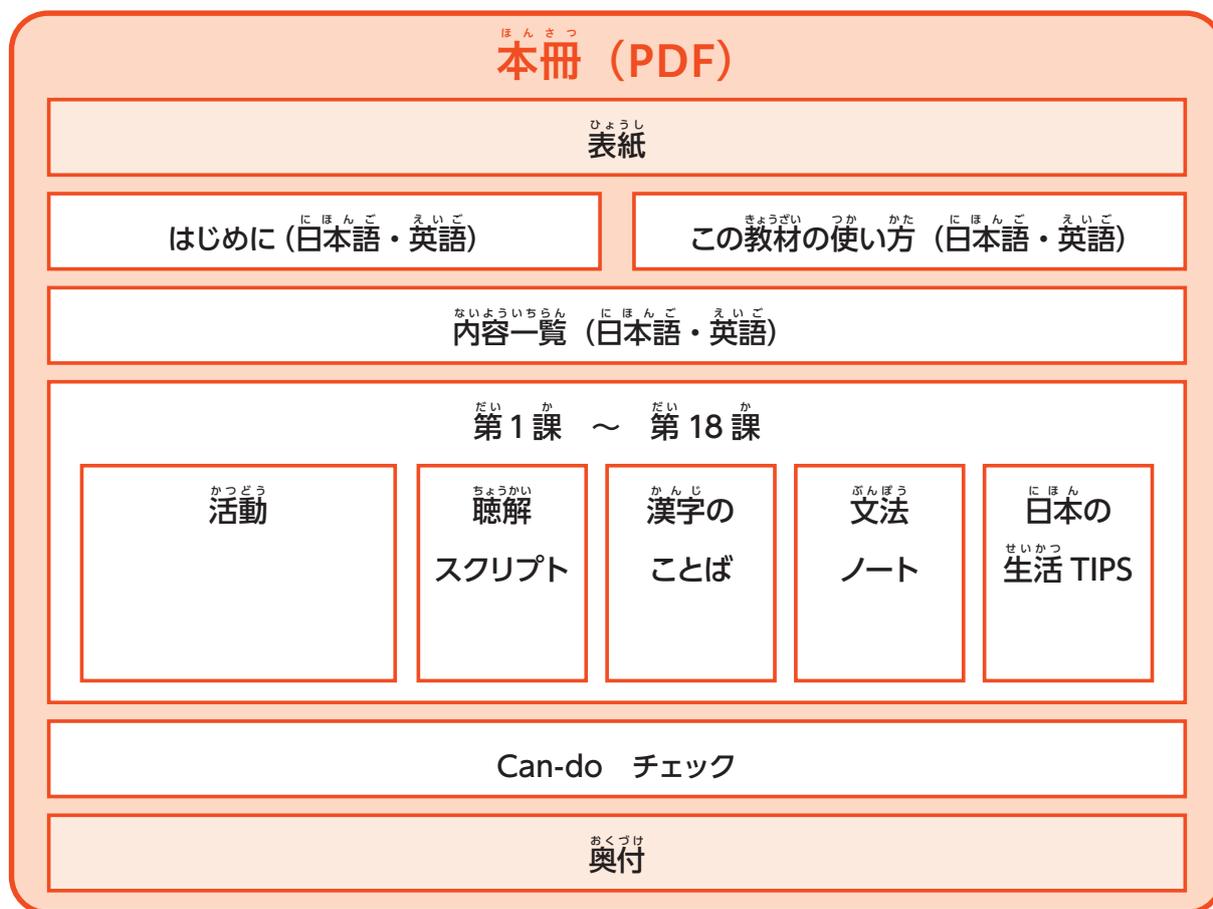
『いろどり』のトピックや、各課で扱われる文法項目は、国際交流基金が制作した海外の学習者のための日本語コースブック『まるごと 日本のことばと文化』と、緩やかに関連しています。そのため、『いろどり』と『まるごと』を併用して使ったり、『いろどり』の学習の補助として『まるごと』の一部を使ったり、『まるごと』のウェブサイト、『いろどり』の学習に使ったりすることができます。

コミュニケーションと文化理解を通じて、人と人との相互理解を目指します

『いろどり』を使った学習が最終的に目指すものは、人と人との「相互理解」です。これは、『いろどり』のもとになった、JF 日本語教育スタンダードの基本理念でもあります。『いろどり』を使って身につけた日本語でのコミュニケーションと文化理解を通じて、日本で新たに生活を始める人と、すでに日本に住んでいる人とが、お互いに自己を表現し、よく知り合い、交流していくことが、「相互理解」につながります。

きょうざい こうせい 教材の構成

『いろどり』の「しゅちゅうきゅう初中級 (A2/B1)」には、いか以下のものがあります。



※ 付属教材・資料は、じゆんじこうかいよてい順次公開予定です。

- ぶんけい文型リスト
- かんじ漢字リスト
- にほんせいかつ日本の生活 TIPS インデックス
- いらすとーイラスト一覧
- こうしまいがい きょうざい しりょう公式以外の教材・資料 一覧
- 『いろどり』の おし かた教え方 (解説動画、授業動画、じゅぎょうどうがセミナー動画等) など

1 各課の構成

『いづどり』の「初級 (A2/B1)」は、9つのトピック、18課から構成されています。ひとつの活動あたりの授業時間の目安は、A2の活動が60～120分、B1の活動が120～180分です。課によってA2の活動とB1の活動の数が違うので、1課あたりの授業時間は幅があります。目安は、1課あたり、およそ5～10時間です。

各課の構成は、次のとおりです。

● トピックと課のタイトル

● 導入の質問

その課で取り上げるテーマについて、具体的にイメージするための質問です。自分の経験を振り返ったり、クラスで話し合ったりします。

● 活動

Can-doを達成するための活動で、この教材の中心となる部分です。各課に3～4の活動があります。この活動を行うことによって実際に使える日本語が身につきます。

● 聴解スクリプト

● 漢字のこぼ

活動の中に出てきた漢字のこぼを勉強します。

● 文法ノート

各課で勉強する文型や表現についての説明です。

● 日本の生活 TIPS

活動の中に出てきた日本文化や日本事情についての説明です。



2 活動内容と進め方

(1) 活動の種類と目標

「初中級 (A2/B1)」の各課には、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4種類の活動があります。各活動は、それぞれ独立していますが、ひとつの課の中で緩やかに関係しています。課によって、活動の数や種類、またその配列が異なりますが、全体としては、話す活動が多いです。

「初中級 (A2/B1)」には、A2レベルを目標にした活動と、B1レベルを目標にした活動があります。4種類の活動の全体的な目標は、次のとおりです。

	B1 日常生活の中で、自分の身近なことや、関心のあることについて、ある程度くわしく説明したり、まとまりのある話をしたりできるようになることが目標です。
	A2 身近な場面で質問したり質問に答えたり、自分のことや身近なことについて簡単に説明したりできるようになることが目標です。
	B1 日常生活の中で、ある程度くわしい説明を聞いて要点を理解したり、スピーチなど、まとまりのある話を聞いておおまかな内容を理解したりできるようになることが目標です。
	A2 日常会話の中で相手の話から大切な内容を理解したり、短い動画から情報を聞き取ったりできるようになることが目標です。
	B1 ネット上の記事など、まとまりのある文章を読んで、おおまかな内容を理解できるようになることが目標です。
	A2 飲食店の注文用タブレットや求人情報など、日常生活で目にする表示や掲示などを読んで、必要な情報を読み取れるようになることが目標です。
	B1 日常生活の中で、プロフィールなど、自分に関することをある程度くわしく書くことができるようになることが目標です。
	A2 メッセージアプリで友人などとやりとりをしたり、身近なできごとについて簡単に SNS に書いて発信したりできるようになることが目標です。

「初中級 (A2/B1)」のA2レベルを目標にした活動では、「初級 2 (A2)」までの活動より、少し長くやりとりをしたり、やや長い話を聞いたりします。

B1レベルを目標にした活動は、「初中級 (A2/B1)」ではじめて登場します。B1レベルは、「自立した言語使用者」として、相手からの手助けがなくてもコミュニケーションができるレベルです。日本の生活で出合うさまざまな場面において、日本語を使って自分ひとりで対応できるようになることを目指します。

(2) すべての活動に共通する進め方

それぞれの活動は、次のような手順で行います。

① Can-doの確認

その活動の Can-do を見て、できるようになることを確認します。

② 活動

「話す」「聞く」「読む」「書く」の活動を行います。

③ Can-do チェック

巻末の Can-do チェックを使って、Can-do が達成できたかどうかを自己評価します。その Can-do をどのくらい達成できたと思えるか、学習者 1人 1人が自分でチェックします。コメント欄には、活動の感想やこれからやってみたいことなどを、自由に記入します。Can-do チェックは、ひとつの活動が終わるごとに書いても、その課の学習が終わったときにまとめて記入してもいいです。



活動・Can-do Activities & Can-do		評価 Self-evaluation
1. 無料マンガの PR		
Can-do + 04 マンガについて書かれた短い簡単な口コミを読んで、理解することができる。	Can read and understand short and simple reviews about a manga.	☆☆☆
2. 試合のシーンが本当にドキドキしました		
Can-do + 05 映画について、コメントや意見を友人にある程度くわしく話すことができる。	Can talk in some detail to a friend about a film with comments or opinions.	☆☆☆
3. 刀が人間のキャラクターになっているんです		

(3) 「話す」「聞く」「読む」「書く」活動の進め方



① Can-doの確認

② ことばの準備 / はじめに、考えましょう

会話例を聞く前に、「ことばの準備」や「はじめに、考えましょう」があります。活動によって、ある場合とない場合があります。

「ことばの準備」は、次のような手順で進めます。「初中級 (A2/B1)」は、「初級2 (A2)」までと違い、基礎的な単語を身につけることが目的ではなく、そのあとの活動に役立つ表現をまとめたものです。自分に必要になりそうな表現をチェックしておきましょう。

1. イラストを見ながら音声を聞いて、意味を確認する

2. 音声を聞いて、まねて言う

発音を確かめることが目的で、覚えることが目的ではありません。

3. 音声を聞いて、内容に合うイラストを選ぶ

聞いて意味がすぐわかるかどうか確かめます。意味と形を結びつけられるようになることが目的です。

「はじめに、考えましょう」は、質問に対して自由に考えることで、自分の知識や経験を思い起こし、これから聞く会話例を理解しやすくすることが目的です。媒介語を使ってもかまいません。

③ 会話例を聞く

活動の到達目標 (Can-do) は「話す」ことですが、まず、Can-doを達成するための会話例を聞いて、会話の内容をだいたい理解します。この段階では、文法や表現について詳細に理解する必要はありません。

会話例には、活動によって、「複数の会話例を聞く場合」と「ひとつの会話例を聞く場合」があります。原則として、前者の場合は、スクリプトが本文ではなく、後ろに「聴解スクリプト」としてついています。後者の場合は、スクリプトが本文に書いてあります。

それぞれの進め方は、次のとおりです。

● **会話スクリプトが本文にない場合**

1. 聞く前に、どんな場面でどんなことについて話しているのかを確認する
2. 会話を聞いて、質問に答えながら、大切な内容を理解する
3. の中の新しいことばや表現の意味を確認してから、もう一度聞いて、少しくわしく内容を理解する

● **会話スクリプトが本文にある場合**

1. 聞く前に、どんな場面で、誰と誰が話しているのかを確認する
2. スクリプトを見ないで聞いて、質問に答えながら、だいたいの内容を理解する
3. スクリプトを見ながら聞いて、より詳しい内容を理解する。
このとき、 の中の新しいことばや表現の意味もいっしょに確認する

4 形に注目

Can-do の達成に必要な文型や表現を勉強します。活動によって、ある場合とない場合があります。

1. 文型や表現に注目する

会話例の中で、注目してほしい文型や表現の部分に下線を引いて空所にしてあります。

音声を聞いて空所にことばを書き入れ、どう言っていたのか、形（言語形式）に注目します。

2. 文型や表現の意味・使い方を考える

文型や表現の意味や使い方を考えるための質問に答えます。教師が先に文法の説明をするのではなく、まず学習者が自分自身で考え、日本語のルールを発見します。

→ そのあとで、「文法ノート」の例文や説明を読んで、確認します。

3. 形に注目して、もう一度会話例を聞く

ここで勉強した文型や表現が会話の中でどのように使われていたのか、会話例をもう一度聞いて、確認します。



5 ストラテジーに注目

活動によっては、Can-do の達成を手助けするストラテジーを勉強します。ストラテジーがあるのは、B1 目標にした活動のみです。各トピックで、ひとつかふたつのストラテジーを勉強します。

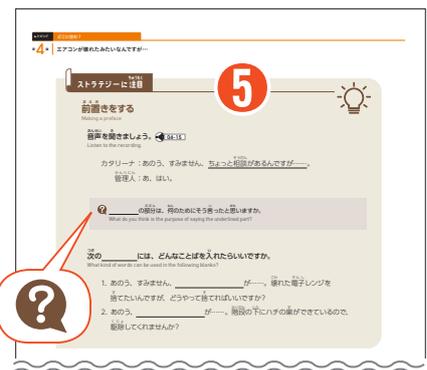
1. ストラテジーに注目する

会話例の中で、ストラテジーが使われている部分に下線を引いてあります。

音声を聞いて、どう言っていたのか、ストラテジーに注目します。

2. ストラテジーの働きについて確認する

ストラテジーの働きについての質問に答え、何のために、どんなストラテジーが使用されていたかを確認します。



3. 練習する

勉強した戦略を実際に使ってみます。ある場合とない場合があります。

6 話す

この活動の到達目標 (Can-do) となる部分です。少しずつ、段階的に練習します。A2 レベルを目標にした活動と、B1 レベルを目標にした活動で、進め方が違います。

A2 A2 レベルを目標にした活動

1. モデル会話を聞く

Can-do を達成するための会話のモデルである「吹き出し会話」を見ながら、音声を聞いて、談話の流れや表現をかくにん確認します。

2. シャドーイングする

なめらかに話せるようになるための練習です。はじめは「吹き出し会話」を見ながら、シャドーイングします。何回か繰り返し、最後は「吹き出し会話」を見ないでシャドーイングします。

3. 練習する

次の「4. 自由に話す」の準備です。「吹き出し会話」のことばを入れ替えたり、③の会話例の内容を使って話したりします。

4. 自由に話す

自分のことについて自由に話したり、ロールプレイをしたりします。「吹き出し会話」のことばを入れ替えるだけでなく、言いたいことについて自由に話します。必要なことばは、辞書やスマホなどを使って調べましょう。

B1 B1 レベルを目標にした活動

1. モデル会話を聞く

Can-do を達成するための会話のモデルである「吹き出し会話」を見ながら、音声を聞きます。まとまりのある話ができるように、談話の流れや構成に注目するようにします。

2. シャドーイングする

なめらかに話せるようになるための練習です。はじめは「吹き出し会話」を見ながら、シャドーイングします。何回か繰り返し、最後は「吹き出し会話」を見ないでシャドーイングします。

6
4-1 エアコンが壊れたみたいなんです。

6
1. 前と同じか、おまかに説明する
すみません。102 号室のカタリーナです。ちょっと騒音があるんですが……。

あ、カタリーナ さんですね。どうしましたか？

上の階の修繕の人が、夜間・朝方に洗濯をするんです。それで、ちょっと困っています。

2. くりく説明する
もう少し詳しく教えてください。

2階の人だと思います。毎日、夜洗濯をします。時間は、だいたい夜の11時から、とどき12時を過ぎることもあります。

ああ、それはちょっと寂しいですね。

私は、早く寝たいのに、洗濯機の音がさくて、寝れなくなります。

そうですか。

3. どうしてほしいか言う
すみません。注意してもらえますか？

わかりました。

ありがとうございます。よろしくお話しします。

初中級 L4 - 11 ©The Japan Foundation

6
2-1 フラワー畑の思い出話です

6
1. 好きなものについて、話す練習をしましょう。
好きなものは何ですか？

ゲームが好きです。いちばん好きなゲームは「刀剣乱舞 ONLINE」です。

2. どんなもの？
刀剣乱舞？

はい、日本の刀から生まれたキャラクターを駆使して、歴史を変えようとする敵と闘ってゲームです。

そうなんですか。どんなところが好きなんですか？

3. 好きな理由や魅力
ポイント
キャラクターがおもしろいです。

刀が人間のキャラクターになっていて、刀の歴史や種類に合わせて強さや得意なことが違ってきます。

ポイント
あと、ゲーム以外にも、いろいろ楽しめるんですよ。

舞台とかミュージカルとかアニメとかもあります。舞台では、イケメン俳優がゲームのキャラクターそっくりに演じていて、すごいです。

おもしろそうですね。

(1) 構文に注目して、会話を聞きましょう。
(2) シャドーイングしましょう。

初中級 L2 - 15 ©The Japan Foundation

3. 再話する

つぎ じぶん はな はな じゆんび
 次の「4. 自分が話したいことを話す」の準備です。メモを見
 ながら ③ で聞いた会話の内容を思い出し、再話（自分のこ
 とばで話してみる）します。「吹き出し会話」の流れや構成
 に注意し、まとまりのある話ができるように練習します。た
 だメモを読んだり、暗記して言ったりするのではなく、メモ
 を参考に自分のことばで話す練習をすることが大切です。

4. 自分が話したいことを話す

まず、「3. 再話する」で使ったメモを参考に、自分が話した
 い内容を考えます。B1レベルが目標なので、少しくわしく、
 具体的な話ができるようにメモを作ります。

そのあとで、自分で作ったメモをもとに、自由に話したり、ロー
 ルプレイをしたりします。メモを見ながら話してもいいですし、
 メモを見ないで話せる人は、見ないで話しましょう。

2-1 ドラマで好きなものを再話する

(3) 下の①-③のメモを見ながら、ペアで練習しましょう。
 Look at items ①-③ and practice with a partner.

①	ゲーム 【具体的に好きなもの】 刀剣乱舞の公演
どんなもの?	日本の刀から生まれたキャラクターを軸に、歴史を要素とする舞台
好きな理由や 魅力	【ポイント①】キャラクターが面白い ・刀・武器のキャラクターになっている ・刀の歴史や種類 → 景や時代などが違う 【ポイント②】ゲーム対応でも楽しめる ・舞台、ミュージカル、アニメ ・イタメン音楽—ゲームのキャラクターソング → すぐまでき
②	音楽 【具体的に好きなもの】 米津玄師
どんなもの?	日本のコンポーザー/プロデューサー、Remix という曲がある
好きな理由や 魅力	【ポイント①】メロディーが面白い → すぐて聴けるメロディー → 聴いて癒やされる 【ポイント②】曲のジャンルが広い ・いろいろな曲調の曲—落ちついたバラード、ノリのいいアップテンポの曲 → どれもよく聴ける
③	ドラマ 【具体的に好きなもの】 連続ドラマ
どんなもの?	連続ドラマという形式で、日本のあちこちで、17歳で始まるストーリーや設定、 背景を築く
好きな理由や 魅力	【ポイント①】調べ方が面白い ・登場に似せ、それに、たぐひんあて → 面白い ・その物語に付いて、同じような背景を築く 【ポイント②】ドラマが面白い ・ドラマの登場人物、設定、ストーリーの展開 → いろいろ ・日本のあちこちに行く → その地方の料理が楽しめる → 面白い

初中級 L2-16 ©The Japan Foundation

2-1 ドラマで好きなものを再話する

好きな音楽やゲーム、ドラマ、スポーツなど、自分が好きなものについて、少しくわしく話しましょう。
 Talk in pairs about things you like, such as music, games, TV dramas, or sports.

(1) はじめに、自分が好きなものについて、どんなものか、好きな理由や魅力など話す内容をメモしましょう。
 First, take notes about what to say about the things you like, such as what they are, why you like them, and their attraction.

①	【具体的に好きなもの】
どんなもの?	
好きな理由や 魅力	【ポイント①】 ()
	【ポイント②】 ()

(2) 自分の好きなものについて話しましょう。メモを見ないで話せる人は、見ないで話しましょう。
 Talk about what you like if you are able to speak without looking at your notes, please do so.

初中級 L2-17 ©The Japan Foundation

シャドーイングとは？

「シャドーイング」とは、聞いた日本語を、すぐそのまま、まねして自分で言う練習法です。いったん音を全部聞いてからリピートするのではなく、音が聞こえてきたら、その音のすぐあとに影 (shadow) のように続いて、小さい声で発音します。

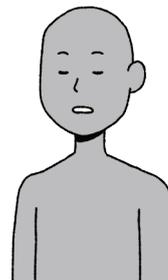


おんがくをきくことです。

おんがくをきくことです。

あと、ゲームをするのが好きです。

あと、ゲームをするのが好きです。

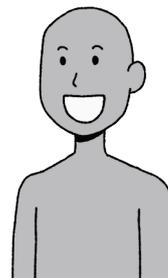


おんがくを
きくことです。

おんがくを
きくことです。

あと、ゲームを
するのが好きです。

あと、ゲームを
するのが好きです。



かつどう すす かた はな に とうたつもくひょう (Can-do) が聞いて
活動の進め方は「話す」と似ていますが、到達目標 (Can-do) が聞いて
理解することなので、聞いて必要なことが理解できれば目標達成です。
A2 を目標にした活動も、B1 を目標にした活動も、進め方は同じですが、
B1 の活動のほうが、長くまとまりのある話を聞きます。

1 Can-do の確認

2 はじめに、考えましょう

聞く前に、これから聞く内容に関連する質問について自由に考
えることで、自分の知識や経験を思い起こし、聞き取りをしや
すくすることが目的です。媒介語を使ってもかまいません。ある
場合とない場合があります。

3 き聞く

この活動の到達目標 (Can-do) となる部分です。

1. 設定を確認する

聞く前に、イラストなどを見ながら、どんな場面で、何のために、何を聞くのかを確認します。

2. 内容を段階的に理解する

質問に答えながら、大切な内容を理解します。「空欄にことばを入れる」「内容に合ったイラストを選ぶ」
「要点をメモする」「〇×をつける」など、活動によっていろいろな練習があります。聞いたことがすべてわか
る必要はありません。質問に答えることができれば Can-do 達成です。

3. ことばを確認してもう一度聞く

少しくわしい内容について聞き取るための、発展的な活動です。□の中の新しいことばや表現の意味
を確認してから、もう一度聞きます。少し難しいことばもあるので、すべてを覚える必要はありません。

→さらにわからない点を確認したいときは、後ろの聴解スクリプトを見るといいでしょう。

5-1 かんたんな話聞いていますか？

4. しもつかれ、知らないですか？

はじめに、写真を見て考えましょう。

①-④の料理は、どんな料理だと思いますか。

初中級 L5-17 ©The Japan Foundation

5-3 かんたんな話聞いていますか？

3. 全話を聞き取ります。

① 料理の名前は何ですか、a-dから選びましょう。

また、それはどこで料理ですか、地図のA-Eから選びましょう。

a. みそビナング b. ドナルド c. きりたんぽ d. しもつかれ

① 札幌の店で ② 仙台の店で ③ 東京の店で ④ 大阪の店で

料理の名前 どの料理？

初中級 L5-18 ©The Japan Foundation

5-4 かんたんな話聞いていますか？

(2) もういちど聞きます。その料理は、何を置けて作りますか、材料をのみから選びましょう。

a. コシウソウ b. ダイコン c. 芋 (ゆめかき) d. 大豆 e. ビーナッツ

① ② ③ ④

料理

(3) もういちど聞きます。その料理について、作り方や食べ方など、ほかになにかを
思っていますか、() にことばを書きます。

① ② ③ ④

そのほか

・お茶をついで ① ドナルドカラー ③ 前庭野郎の ④ おつまみにもな
のほかに作った。 ② 鶏皮を ④ 取り除き ⑤ し。()
① () で ② () た () で ③ 作る料理 ④ いい
⑤ () と () にも ⑥ 気味もあって () の
⑦ 皮がパリパリ ⑧ ⑨ ()

初中級 L5-19 ©The Japan Foundation

5-5 かんたんな話聞いていますか？

(4) ことばを確認して、もういちど聞きましょう。①-④

① 餅 (もち) | ちくわ (chikuwa/Bishoku) | 自治体 (local government) | 自治体 (local government)

② つらね (つらね) | たいやん (taiyan) | 煮える (nueru)

③ めずしい (mezushii) | ーびが (ebi-ga) | only

④ アフライ (afurai) | たいやん (taiyan) | できて (deite) | たいやん (taiyan) | おつまみ (otsumami)

⑤ みそ (miso) | たいやん (taiyan) | 煮える (nueru) | 煮える (nueru)

⑥ 餅 (もち) | ちくわ (chikuwa/Bishoku) | 自治体 (local government) | 自治体 (local government)

⑦ 餅 (もち) | ちくわ (chikuwa/Bishoku) | 自治体 (local government) | 自治体 (local government)

初中級 L5-20 ©The Japan Foundation

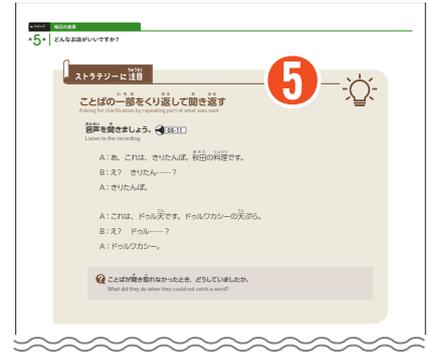
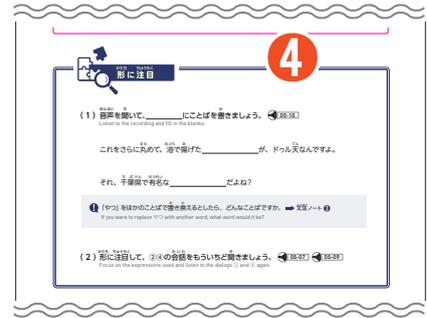
4 形に注目

聞いて理解したことの中から新しい文型や表現に注目して勉強
します。進め方は、「話す」活動の場合と同じです。ただし、新
しい文型や表現がない場合は、このコーナーはありません。

5 ストラテジーに注目

活動によっては、Can-do の達成を手助けするストラテジーを
勉強します。
進め方は、「話す」活動の場合と同じです。

6 Can-do チェック



4 形に注目

読んだ素材に含まれている文型や表現の中から、知っておいた
ほうがいいものを取り上げています。進め方は、「話す」「聞く」
活動の場合と同じです。ただし、「読む」の場合は、音声があり
ません。文章を見ながら下線の空所にことばを入れます。活動
によって、ある場合とない場合があります。

5 ストラテジーに注目

活動によっては、Can-do の達成を手助けするストラテジーを
勉強します。
進め方は、「話す」「聞く」と同じです。

6 読んだあとに考えましょう

読んだ内容について、理解を深めます。質問に答えて、自分の経験を振り返ったり、自分の国の場合と比べて
ります。クラスでの話し合いは、媒介語を使ってかまいません。活動によって、ある場合とない場合があります。

7 Can-do チェック

The screenshot shows a digital learning environment. At the top, there's a search icon and a magnifying glass over the text '形に注目' (Focus on Form). Below this is a large number '4' in a red circle. The main area contains a form with several lines of text, some of which are underlined, and a small box with a question mark icon. Below the form, there's a section with a red circle containing the number '6' and the text '読んだあとに考えましょう' (Think after reading). This section includes Japanese instructions and an English translation: 'Think after reading. Japanese life rules. For each rule, think about how you feel about it. Search for "Japanese life rules guidebook" on a search engine and look for guidelines or videos related to Japanese life rules.' At the bottom right, it says '初中級 L11 - 18 ©The Japan Foundation'.



① Can-do の確認

② 書く

1. 設定を確認する

書く前に、どんな場面で、何のために、何を書くのかを確認します。

2. 例を読む

例がある場合は、例を読んで、どんなことを書けばいいかを具体的にイメージします。

3. 書く

この活動の到達目標 (Can-do) となる部分です。

「初級 2 (A2)」までは、SNS やメールのように、一方的に発信するものが中心でしたが、「初中級 (A2/B1)」では、メッセージアプリを使った「書くやりとり」が中心です。実際にクラスの人とメッセージアプリでメッセージを送り合ったり、AI を相手にやりとりの練習をしたりするといでしょう。B1 を目標とした活動では、自分に関することをある程度くわしく書けるように、メモを作って内容を考えてから書きます。SNS での発信など、やりとり以外の活動では、書いたものをクラスで読み合っ、読み手の立場からのフィードバックをもらうといでしょう。

③ Can-do チェック

7-1 | 2024年4月1日現在までの学習到達目標

2. サークルについての質問

A2 サークルに参加している友人にメッセージを書いて、サークルについての情報を得ることが出来る。

1. サークルについて質問するメッセージを書きましょう。

2. 入札したサークルがあります。そのサークルに参加している友人にメッセージの質問をします。

(1) 質問をしましょう。プレイせんが、A2のサークルにメッセージを送っています。

1. プレイせんは、何のサークルに参加したいですか。

2. サークルについて、質問をしていますか。

3. ①・②には、どんな情報が書いてありますか、a-d から選びましょう。

a. 相手の提案を聞き、やりとりを始める。 b. 相手に質問をして情報を得る。 c. 理由を伝える。 d. やりとりを始める。

①	②	③	④
---	---	---	---

初中級 L7 - 5 ©The Japan Foundation

7-1 | 2024年4月1日現在までの学習到達目標

ヘレン

どうしました?

ヘレンから、こんにちは。

どうですか? 何か質問はありますか?

私も行きたいなと思っているんです。

ええ、どうぞ!

ありがとうございます。それでは、お楽しみにしています。

なんでも聞いて!

サークルについて、どんな情報も教えてください。

はい、あなたの質問をありがとうございます。このサークルは、AIとやりとりをするための練習場です。ぜひ参加してください。また、友達も誘ってください。

これは、あなたの目標達成のために、一緒に取り組むことができます。一緒に頑張ってください。

ありがとうございます。また、お会いしましょう。

7-1 | 2024年4月1日現在までの学習到達目標

初中級 L7 - 6 ©The Japan Foundation

7-1 | 2024年4月1日現在までの学習到達目標

アプリから | タウン square

(2) メッセージアプリを使って、やりとりしましょう。

1人、サークルなどに参加したいという設定でメッセージを書いて、送ります。メッセージを受け取った人は、それに対する返信を書きましよう。相手のサークルに入りたい場合は、そのイラストを参考にしてください。自分でも自由に考えてもいいです。

この練習場は、AIとやりとりするための練習場です。ぜひ参加してください。また、友達も誘ってください。

7-1 | 2024年4月1日現在までの学習到達目標

初中級 L7 - 7 ©The Japan Foundation

3 そのほかのコーナーの内容と進め方

1 漢字のこぼ

初級から中級レベルの漢字を、こぼの中で練習するコーナーです。日常生活において、必要な漢字の意味が見てわかり、また必要な場合には、スマホやPCで漢字が入力できるようになることが目標です。

各課では、活動の中に出てきたこぼの中から、漢字のこぼを10程度取り上げます（「初中級」で勉強する漢字は215字、「入門」「初級1」「初級2」「初中級」で勉強する漢字は、合計で644字です）。次の手順で進めます。

1 読み方と意味を確認する

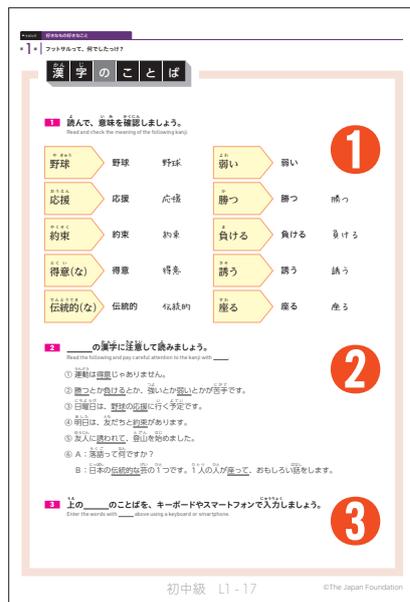
漢字の読み方に注目しながら、こぼの意味を確認します。漢字は、3種類の字体で書かれています。いろいろな字体に慣れてもらうためです。

2 文の中で読む

漢字のこぼが含まれている文を読んで、読めるか、意味がわかるかを確認します。

3 入力する

最後に、学んだ漢字のこぼを、自分のスマホやタブレット、キーボードなどで入力して、漢字が正しく入力できることを確認します。ここでは漢字を手書きできるようになることは求めていませんが、漢字に興味のある学習者が、手書きも練習したいという場合は、自由にさせてください。

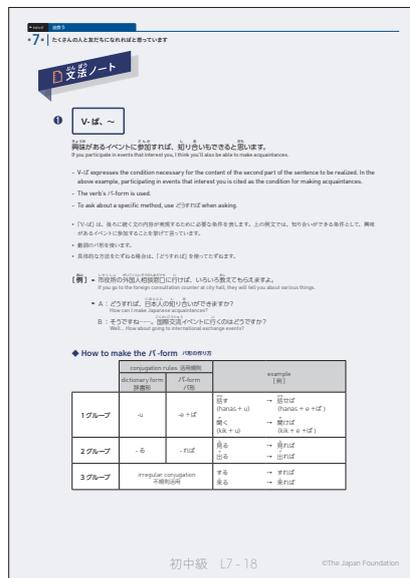


1 文法ノート

各課で勉強する文型や表現についての説明です。各活動の「形に注目」の文型や表現が取り上げられています。説明を読めば、「形に注目」の質問の答えがわかるようになっています。

各課で取り上げられている項目ごとに、形（言語形式）とその意味、その課のどんな場面で使われているかが説明してあります。また、この教材の活動では扱われていない使い方などの発展的な情報、追加の例文があります。必要に応じて、活用形などをまとめた表、類似表現の比較などもあり、文法の知識が整理できるようになっています。

授業では、活動の「形に注目」で、文型や表現の使い方について学習者が自分で考えたあと、このコーナーの説明を読んでもいいですし、このコーナーを使って教師が説明してもいいでしょう。また、授業では、簡単に触れるだけに、説明は宿題として各自が読むというやり方することもできます。



なお、本冊には、文法の定着を目的とした練習はありません。文法の学習は、活動とは別に付属教材の「文法ワークシート」などを使って行ってください。ただし、文法の練習が、目標となる Can-do とまったくかけ離れた練習にはならないよう、目標となる Can-do を意識した練習をしましょう。

このコーナーの説明は、英語（または媒介語）で読むことが前提となっています。日本語は教師の参考用ですので、学習者がこの日本語を読んで理解する必要はありません。

このコーナーでは、品詞などを表すときに、次のような記号を使っています。

N …… 名詞
 NA …… ナ形容詞
 IA …… イ形容詞
 V …… 動詞
 S …… 文

「V-る」は動詞の辞書形を表します。「読む」「行く」のように「る」で終わらない動詞も含まれています。

日本の生活 TIPS

日本の生活に役に立つ知識を、コラムとしてまとめています。写真やイラストを豊富に使いながら、楽しく日本の生活や日本文化についての知識が得られるようになっています。

各課の項目は、本文で扱われているものの中から、日本に行ったことがない学習者にとって説明があったほうが良いと考えられるものを中心に挙げています。また、それ以外にも、日本で生活する上で知っておく役に立つ参考情報も載せてあります。活動のあとで、自分で読んだり、クラスで扱ったりするといいでしょ。また、活動を進める上で、説明が必要な項目が出てきたときに、このコーナーを参照することもできます。

なお、このコーナーも「文法ノート」と同様に、英語（または媒介語）で読むことが前提となっています。日本語は教師の参考用ですので、学習者がこの日本語を読んで理解する必要はありません。

